

# 令和4年度 危機管理部の運営方針

危機管理部長

竹内 浩巳

危機管理部の組織体制




危機管理課



## 基本方針

防災活動の基本である「自助」「共助」「公助」を視点に、第2次総合計画に掲げた政策目標である「防災力を高めるまちづくり」を推進します。

- 「自助：自らの命は自ら守る」  
在宅での生活を継続するため、家庭での安全対策への取り組みを支援するとともに、市民の防災知識、意識の向上のため啓発・普及に努めます。
- 「共助：自らの地域は皆で守る」  
地域における防災組織や避難所運営組織の活動を支援し、防災組織体制の充実を図るとともに、市や関係団体との連携体制の強化に努めます。
- 「公助：市民の生命・財産を守る防災力の強化」  
災害時に全市的に必要となる防災資機材等の整備を計画的に進めるとともに、防災力強化のための施設整備や計画の実行性を高めるための関係機関との連携体制の強化に努めます。

## 重点的に取り組む施策・事業

1 「自助」 (危機管理課)					
現状・課題	①体験型ワークショップを4回実施します。 ②出前行政講座を20回以上実施します。(令和3年度15回)				
取組内容	【自助】親子で参加する体験型防災ワークショップなどを開催するほか、マイタイムラインの作成のための出前行政講座を行う中で「いのちは自分で守る」ための防災知識や意識の向上を図ります。				
2 「共助」 (危機管理課)					
現状・課題	令和4年12月末までに避難所における感染症対策訓練を2回実施します。(8月モデル訓練・12月地域防災訓練)				
取組内容	【共助】避難所運営委員会と、感染症対策に重点を置いた避難所運営訓練を実施します。また、女性向けの防災講演会を開催し地域の防災力の向上を図ります。				

<p>3 「公助」 (危機管理課)</p>	<p>11 住み続けられるまちづくりを</p> 	<p>13 気候変動に具体的な対策を</p> 				
<p>現状・課題</p>	<p>新型コロナウイルス感染症対策については、避難所などでの感染症対策が重要であることから、訓練などと合わせハード・ソフトによる対策を進める必要があります。  また、災害に強いまちづくりのためにはハード・ソフトの両面から取り組む必要があります。防災資機材や備蓄品の整備などを行い、災害時に適切な対応ができるよう平素から維持管理を行うことや災害時に正確な情報を迅速に市民へ発信するため茶こちゃんメールなどを活用し情報伝達の充実に努める必要があります。</p>				<p>達成目標</p>	<p>避難所や拠点倉庫・備蓄倉庫47箇所の点検・整備を実施します。</p>
<p>取組内容</p>	<p>【公助】新型コロナウイルスへの対策として従来の資機材に加え感染症対策用品の備蓄を進める。  また、市内各避難所や拠点倉庫(各コミュニティセンター、小中学校等)に備蓄する資機材が非常時に迅速に使用できるよう、適正な備蓄や保管、管理を行います。</p>					